

民間ユネスコと



ユネスコスクールの連携事例

日本各地のユネスコ協会・クラブ(272団体)

それぞれの特徴を生かして
地域の学校(ユネスコスクールを含む)と連携し
ESDの支援とSDGs達成に努めている



日本ユネスコ協会連盟

〈ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクトなど〉

委員： 大濱 淳子(箕面ユネスコ協会) 鈴木 昌徳(津山ユネスコ協会)

「がんばろう！つばさネットワーク」との協働

～箕面ユネスコ協会～



能登半島地震の被災地珠洲市へ 復興支援ボランティアツアー



2011年より
大阪府下のユネスコスクール高校生との
東日本大震災ボランティアツアーを継続

- まだまだこんなに厳しい生活とは知らなかった
- 被災している方が逆に自分たちに元気をくれて感動した
- 自分たちの地域で何か起こったら、自分ができる行動を仲間といっしょに起こしたい





- ・みんなが一生懸命聞いてくれて、自分が役に立てたと思ったし、すごく楽しかった
- ・またボランティアに行ってみて感じたことを伝え続けていきたいです



- ・わたしも被災地の人たちのためにできることを少しでもやりたかったです
- ・ボランティアは大変そうだけど、それでも実際に行って困っている人を助けたい
- ・防災について知れたことを下の学年の子たちに伝えたいです



地元の古刹「法福寺」の「文化財修復」事業

～津山ユネスコ協会～

2020年から2年4ヶ月の歳月を要した事業 → 高校生が無形文化財継承者に



寺総代会・美作高校生・津山ユネスコ
3団体による文化財修復事業
→「グッド・プラクティス賞」受賞

修復作業に関わった高校生が”無形文化財継承者”
として250年続く「念佛踊」に毎年参加。地域住民
から喜びの声が...



無形文化財継承者 登録者9名に

2022年8月から継続中 ～ 地域社会に環境保全の重要性を訴えている



- 地元企業
(中国銀行・(株)グリーンベルト)
- ユネスコスクール(美作高校)
- 津山ユネスコ協会

- 美作高校は年間6回、全校生徒で取り組む活動に！
関係する各部は年10回以上実践
- 地元企業も環境再生に寄付金と協働で活動に参加
- 美作高校と津山ユネスコの協働は26年間に亘る
→ 卒業生6名は青年部としてユネスコ活動に参加



国内のユネスコ活動の活性化と普及のためには、
ユネスコスクールがユネスコ協会に限らず、いろ
いろな団体と協働することがユネスコの心を持つ
次世代の人材育成に結びつくものと考えます